

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-2 組織能力の向上	事業	6-2-1 適正な組織・職員配置
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。
事業目的	事務事業や組織の見直し等により、人的資本を有効に機能させるとともに、「人材の育成」事業とあわせ、組織全体の価値提供水準を向上させます。
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・社会情勢が変化する中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和5年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。
期間	令和7年4月 ~ 令和8年3月
予算額 決算額	予算額
	決算額
	執行率
	単位:千円 総事業費 収益的支出 資本的支出 総事業費 収益的支出 資本的支出 単位:%
	事業費計 0 0 0 0 0 0
	工事費 0
	原材料費 0
	委託料 0
	賃借料 0
	その他 0
	人件費 249 0 0%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	-	事業進捗度	
	上半期執行率	-		
進捗状況				

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	時間外勤務の実施時間の削減	単位	%	目標値	R5年度比5%削減			
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	選択	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	選択
	目的に対する実施内容	選択		情報発信の実施	選択
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	選択	組織学習	職員の知識向上のための取組み	選択
	投入した費用・労力に対する成果	選択		知識の伝達	選択
評価理由(特記事項)					総合評価
					自動計算

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
	選択